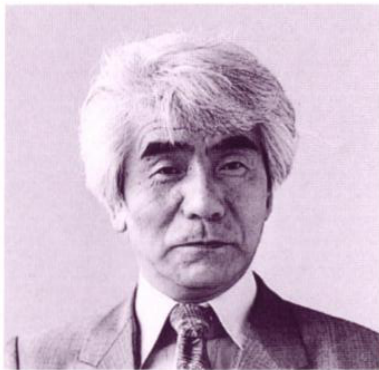


金澤北ロータリークラブ

新年提唱



1999～2000年度 会長
長谷川 望人

エネルギー

人間には見ることも触れることも感ずることも出来ません。しかし脈々と活動し大宇宙を生成化育させています。

大宇宙が生誕回転し始めた瞬間、相対の現象界を生み、自転公転の地球、明暗大小善悪の同時進行です。

人が土地に順応し、己れや己れの家族、国を愛するのは良い方の本能心の働きですが、これが偏頗な愛に変わると他を排斥し他の人種を憎み殺戮へと駆り立てる戦争悪本能

心となります。

扱いに苦慮した人類は古代よりこの本能心を克服しようと理性心（知識）を探求して来ました。知らないことを知ろうとしたのです。結果、知識偏重を生み学んでいよいよ苦しむの有様です。暦も然り、数字に引っかかり廻され便利な筈のコンピューターに嘲笑され右往左往している人が現に沢山いますね。

当てにならないものを当てにすると、とんでもない大間違いを起こすのです。では人には叡智が有るのでしょうか。

「靈性心」

意志の力はこの靈性心が源です。知る知らんを問わず人は皆もっているのですが中々発揮出来ません。

我々ロータリアンはこの点恵まれています。「奉仕の理想」を提唱する例会が週一回必ず開かれています。この奉仕の理想こそが大叡智に触れる靈性心の発端になります。

人の為世の為に役立つ、この大宇宙の進歩向上に役立ちその発展に寄与出来ること、尊く強く明るい積極的な心で奉仕の理想を追求すれば、真のロータリアンの誕生となり新しい年に新しい提唱となるでしょう。

「日本刀とそばとワイン」

本村丹二

今日お話をさせていただく「日本刀とそばとワイン」、この三つはまったく関係がございません。これはただ、私が過去にはまった趣味、これを順番にならべただけでございます……。

まず、三つの中で「そば」と「ワイン」については一度も食べたことが無い、飲んだことが無いという方はいらっしやらないと思います。ですが、本物の日本刀をご覧になった方はいかがでしょう。予想より多いですね……後の話がちょっと難しいな一。

実は、後の話に関わってくることもあり、実物をお見せしながらお話を進めます。美術刀剣というのは、【実物を手に取りながら】『こちらが「白鞘」または「休み鞘」と申します、こちらは「拵（こしらえ）」であり、中身はいわゆる「竹光」です』このように二つに分けて保存する方法を取っております。これは「短刀」でございまして、短刀というのは刃の長さが一尺以内のものをいい、一尺から二尺までを「脇差」、二尺以上のものを「刀」もしくは「太刀」といいます。柄の中を「茎（なかご）」といい、刀鍛冶の名前ですとか作った年号が彫られています。

いよいよ今日の話の本論ですが、実はこの三つの中の共通点を、これは私が必死に考えたことをお話していきたいと思います。

まずワインには「テロワール」という言葉がありまして、これは、同じ作り手が同じぶどうで作っても、畑が違ふと味が違ふということであります。それではこの「ワイン」と「日本刀」と「そば」がどこで結びつくのか、ここからは書物にも何も書いてない、私の独断？と偏見？で進めます。

「刀」の鑑定会では、刀身だけを見て、これがだれの作かをあてる、こういう勉強会があり

ます。そのような時、私の友人いわく「この鋼^{カナ}は黒い。この鋼は白い。この鋼は青い。」と、鉄でできているからいっしょじゃないかと思うのですが、非常に鋭敏な感覚といたしますか、そういわれてみればそうなんですね。比べてみるとそういう感じがするんですよ。私にも一つだけわかる感じがありまして、「羊羹」のような感じがする、九州の刀は私にはそう見えるんですね。地方によって鉄の色が違ふ。ワインの「テロワール」と同じではないかと思ひます。

それなら「そば」はどうなのか。今までのそばを打った感覚で言ひますと、非常に種類は多いのですが、実は20年近くそばを打ってきましたが、本当においしいと思つたことは3回あります。この、3回とも同じ人に同じように挽いてくれと頼んでも次にくるのは同じ味じゃないんです。これは、ひょっとしたらそばのできた畑が違ふのではないかと思ひています。

これで、ワインの「テロワール」、日本刀の「地域性」、それからそばの「地域性とか畑の差」という共通点のこじつけが成立するのでは、そのように感じております。



年忘れ会

平成11年12月16日 於：金沢国際ホテル



雅楽とは

(1) 日本に古来から歌い継がれてきた「くにぶりのうたまい国風歌舞」

国風歌舞とは、神楽歌、久米歌、東遊など日本に古来からあった歌舞で、特徴として歌に舞を伴い、伴奏楽器に「和琴(わごん)」「笏拍子」を使用。

(2) 五世紀から十世紀くらいの間に、中国とか朝鮮半島を経由、または、林邑(りんゆう、ベトナム付近)天竺(インド)などから渡来した「外来音楽」。外来音楽は一般に「雅楽」と呼ばれている器楽曲と舞曲である。

(3) 十一世紀ごろ、日本の宮廷貴族によって発生した「朗詠(ろうえい)催馬楽(さいばら)」という歌物。朗詠とは内外の優れた漢詩に旋律を優雅にした歌曲。

(1)、(2)、(3)を総称して、雅楽という。

楽器について

・三管しょう びん〔笙、篳篥、笛〕・三鼓かつこ〔羯鼓、太鼓、鉦鼓〕・二絃しょうこ〔琵琶、箏〕

* 舞曲は、絃楽器を用いない。

舞楽「陵王」について

龍の顔か、金翅鳥を表しているとされている面を付け、右手に金色の桴(ばち)を持ち、一人舞といわれ、テンポの速い舞楽。左(さ)の舞*。中国、北齊の蘭陵の王 長恭は、才知武勇に優れていたが、容貌が美しく優しく、戦いの時には味方の士気が上らず、恐ろしい仮面を付け、全軍を鼓舞し、周の大軍を打ち破り凱旋した。

その武勇を舞にし、金の桴を持ち舞う姿に戦の士気ぶりがうかがえ、舞楽中の秘曲といわれている。この王の墓は今でも河北省邯鄲にある。

* 左(さ)の舞とは、装束は赤色を基調とし、舞ぶりは華麗で、必ず左足より進退する。

金沢8 R C 新年合同例会 平成12年1月6日 於：都ホテル

点 鐘 金沢西RC 会長 中村 吉輝

国歌斉唱 「君が代」

ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」

素囃子・踊り 三廓芸妓連中

金沢8RC 会長代表挨拶 金沢西RC 会長 中村 吉輝

第2610地区 ガバナー挨拶 ガバナー 松尾 久義

乾 杯 第2610地区 石川第一分区 ガバナー補佐 荒川 宏

懇 親

ロータリーソング斉唱 「手に手つないで」

点 鐘 金沢西RC 会長 中村 吉輝



第1291回例会 年忘れ会

◆12月16日(木) はれ 12:30~13:30 金沢国際ホテル

1. 出欠

出席55名 欠席20名 出席率73.33%
ご夫人30名 米山奨学生ご夫妻

2. 例会

18:30 例会開始
点鐘
ロータリーソング「それでこそロータリー」
会長挨拶・松魚亭へお歳暮
幹事報告
ニコニコボックス
点鐘

3. 年忘れ会

18:45 開会の挨拶 大垣親睦委員長
18:50 「雅楽」
19:20 乾杯 長谷川会長
19:30 ほんのちょっとしたお祝い事
19:45 会員作品展抽選会
20:00 歓談
20:50 ロータリーソング「手に手つないで」
閉会の挨拶 本岡会長エレクト
21:00 閉会

4. ニコニコボックス

長谷川君、田中君
平成11年金沢北RC年忘れ家族会が皆様の沢山のご協力で開かれます。心から感謝申し上げます。
大垣君
年忘れ会に、ゲストとして「澄音会」の方々に、雅楽の演奏と舞をいただく事になりお礼申し上げます。又、本日は大勢の会員並びに奥様方のご参加を頂き、ありがとうございます。作家の先生、そして会員と奥様方より、美術展にも心よくご協力を頂戴し、重ねてお礼申し上げます。又、大場松魚先生の色紙を全員参加のジャンケン大会にて、獲得することが出来ました。ありがとうございます。

米澤(修)君、佃君

拙い絵を、皆様に見て頂き、恐縮しております。又、大場先生の色紙を頂いて。ありがとうございます。(特に同じテーブルの方々にお礼申し上げます)

上田君

「のど」から手が出る程欲しかった大場先生の「なつめ」ありがとうございます。今日は、金婚式のお祝いと両手に花。本当に有難うございました。

山上君

大場先生の帯留を頂きました。ありがとうございます。

河口君

結婚記念日、無事25年たちました。ありがとうございます。

合計29,000円(累計 454,000)

第1292回例会 金沢8 R C 新年合同例会

◆1月6日(木) はれ 12:30~14:00 都ホテル

1. 出欠

出席45名 欠席30名 出席率60.00%

2. 他クラブ出席状況

金沢RC	73名	金沢東RC	60名
金沢西RC	53名	金沢南RC	53名
香林坊RC	45名	みなとRC	36名
百万石RC	19名		

12月クラブ日誌

9日(木) 12月定例理事会
クラブ年次総会
次年度理事会

松魚亭にて
松魚亭にて
松魚亭にて

16日(木) 年忘れ会

金沢国際ホテルにて

会 長：長谷川聖人	S A A：松平 敦實
会長エレクト：本岡三千郎	会 計：佐藤 正寿
副 会 長：合田 昌英	広報委員長：銭亀 賢治
幹 事：田中 廣明	会 員 数：79名
副 幹 事：畠 善昭	クラブ設立：昭和48年10月3日

例会日：木曜日 12:30~13:30
例会場：松魚亭 金沢市東山1-3-8-30
TEL<076>252-2271 FAX252-2273
事務局：金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内
TEL<076>222-2525 FAX224-2882



この会報は再生紙を利用しています。